

会員の活動報告

(2019年11月～2020年10月)

伊川 徹

- スッパリ大改造！ ― 表話と裏話 その1 ― (「ひろば*Place de CAF^tN^o1*」、日仏文化講座CAF電子版、pp.6～7、2020年5月)
- スッパリ大改造！ ― 表話と裏話 その2 ― (「ひろば*Place de CAF^tN^o2*」、日仏文化講座CAF電子版、pp.4～6、2020年9月)
- 日仏の出会い ― サムライとシュヴァリエ ― (*le salon culturel*、於大阪市中央区今橋、フランス語教室*le Cours*、2019年12月)

大久保 朝憲

- « Fonctionnements discursifs de l'euphémisme et de la litote – avec un éclairage sur une divergence franco-japonaise » (*Quinze études de cas sur les modalités linguistiques* (Collection Epilogos, N^o 6, textes réunis et présentés par Catherine FILIPPI-DESWELLE)、電子出版：<http://eriac.univ-rouen.fr/fonctionnements-discursifs-de-leuphemisme-et-de-lalitote-avec-un-eclairage-sur-une-divergence-franco-japonaise/>、2020年2月)

奥 純

- ポール・クローデル関大講演再考 (『関西大学年史紀要』第27号、関西大学年史編集委員会、2020年3月)

柏木 治

- 「絶妙に配された三者」(新聞記事、第36回織田作之助青春賞・奨励賞選評、『毎日新聞』、2020年1月10日)
- 第36回織田作之助青春賞選評 (雑誌記事、『三田文學』、三田文学会、第140号冬季号、2020年2月)
- 第36回織田作之助青春賞・奨励賞選評 (雑誌記事、『文學回廊』、大阪文学振興会・織田作之助賞実行委員会第5号、2020年3月)
- 読書教養講座「ゼロから紡ぐ、読み手に託す」(公開講座、ゲスト：森絵都氏、講演と対談、21世紀活字文化プロジェクト、読売新聞社、2019年11月9日)

友谷 知己

- マリヴォーと古典悲劇—『ハンニバル』の劇作術—（『仏語仏文学』第46号、2020年3月）

修士論文題目

2020年3月

佐々木 麻衣

- マリヴォーの初期喜劇における恋愛観

白神 綾乃

- フランスにおける学生売春と性意識について

山野 美咲

- フランス語と日本語におけるもの名付けと比喩の関連について

後 記

2020年は春先から世界中に広がった新型コロナウイルス感染拡大によって、大変な混乱に見舞われた一年でした。皆様、お変わりございませんでしょうか？本学会でも、12月19日の総会はZOOMを使って遠隔で開催し、研究発表会は開催できませんでした。残念でしたが、先行き不安な状況の中で、発表を希望される会員がなかったのもやむを得ないことと思います。しかし、そんな中でも、会員の皆様の研究意欲は衰えず、本年も『仏語仏文学』第47号をお届けすることができました。執筆者の皆様には、改めて敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。また、遠隔にもかかわらず総会にご参加いただきました会員の皆様にも、ここで厚く御礼申し上げます。

1日も早く、事態が終息し、本年12月には皆様と関大でお目にかかれま
すよう、心から祈っております。

(編集委員会)

関西大学フランス語フランス文学会々則

1. 本会は関西大学フランス語フランス文学会 (Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) と称し、事務所を関西大学文学部フランス語フランス文学専修合同研究室に置く。
2. 本会はフランス語フランス文学に関する研究および発表と、これに関連する事業を行なうことを目的とする。
3. 本会は次の事業を行なう。
 1. 機関誌「仏語 仏文学」(Bulletin de la Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/The Bulletin of Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) およびその他の出版物の刊行。
 2. 研究会・講演会の開催。
 3. その他本会の目的にかなう事業。
4. 本会はその目的に賛同する次の会員をもって構成する。
 1. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修専任教員。
 2. 関西大学大学院文学研究科フランス文学専攻・専修学生、およびその修了者 (旧学科名称時の大学院修了者を含む)。
 3. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修学生、およびその卒業生 (旧学科名称時の学部卒業生を含む)。
 4. 本会の趣旨に賛同し、入会を認められた者。
5. 本会の目的を達成するため会費を納入する。
6. 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし、重任を妨げない。
 1. 会長 1名
 2. 委員 若干名
 - a. 企画委員
 - b. 編集委員
 - c. 庶務・会計委員会長と委員によって委員会を構成し本会の実務の運用に当り会長はこれを統括する。
7. 会員は機関誌「仏語 仏文学」等の配布をうける。また会員は機関誌への投稿、および本会の行なう事業に参加することができる。なお、投稿論文は、会則6に定める委員会の議を経て掲載される。
8. 本会の重要事項は総会の議決による。

(2007年4月1日から施行)

仏語 仏文学 第47号

2021年3月15日 発行

編集・発行 関西大学フランス語フランス文学会
吹田市山手町 関西大学
フランス学研究室
印刷所 株式会社 遊文舎
大阪市淀川区木川東4丁目17番31号
電話 (06) 6304-9325(代)

(非売品)